

Aタイプ組み立て方

第1工程 鉄骨組立
第2工程 パネル・床・天井

第1工程と第2工程は必ず別日に行ってください。初めて作る場合は2日3人を推奨

必要な資材 私たちが3人で使っている資材です

釘袋3

各釘袋に

マジック

段ボールカッター

メジャーヘキサゴンソケット 黒ボルト用 <https://www.monotaro.com/p/6921/5134/>

17のソケット

マグネット付き水平器8

直角を出す ワイヤー

直角を出す ガチャガチャベルト6

ライナースペーサー 1センチ10枚 5ミリ20枚

マスキングテープ5

コーキング10本

ゴミ袋

ラジエツトレンチ

巻尺10メートル

鉄ハンマー

金切ばさみ

コーキングガン

サンダー

丸ノコ

18Vインパクト3つ

レーザーレベラ

天井を抑えるやつ

2m脚立 3

短い脚立 2

ペケ台

コンパネ

基本はこの説明書の手順で行い動画を参考にしてください。





①角にコーナー部材を置きます。
5個の穴があり、ねじ山の切つてある方が上向きです。



②下の長い鋼材と短い鋼材を取り付けます。取り付け時は黒いボルト、ナットを使います。
短い鉄骨には床の乗る出っ張りがついています。
長い鉄骨は鋼材を受けるところが4mの場合は7個、6mの場合は9個ついています

黒ボルト16個 ナット16個使用

この時四隅の水平、対角を見て直角を出します。



鉄骨の内側にある出っ張りに床が乗ります。床の厚みは18mmなので20mmの耳のある方が上になります。※写真黄色部分



柱と上のコーナー(収集機)をボルトで取り付けます。この際ナットは使用しません

黒ボルト20個使用



柱を建てます。

黒ボルト20個使用



床を載せる軽量鉄骨を取り付けます。
4cm×8cm、8cm×8cmが交互になるように取り付けます。

4cm×8cmは床の中間のなるのでどちらからスタートしても4cm×8cmから取り付けます。

4mプレハブの場合 4 8 4 8 4 8 4

6mプレハブの場合 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8

長いボルトは8cmに短いボルトは4cm

取り付けたら受けの部分をハンマーで叩いてパネルが置きやすいようにしてください。



上の白い鉄骨を黒ボルト、ナットで取り付けます。

ボルト12個 ナット12個使用

長い鉄骨は鋼材を受けるところが4mの場合は3個、6mの場合は4個ついています。

写真の赤い耳の部分が2cmの方が下になるように取り付けてください。

軽量鉄骨を取り付けます。



雨樋の屋根を打ち付けるところ(写真黄色)に茶色のスポンジテープを取り付けます。屋根の雨水を遮ります。コーキングでも可。上上げる前に取り付けると楽です。動画では両面テープ、ビニールを貼っていますがスポンジテープに変更されています。



上に長い軽量鉄骨3本、長い雨樋2、短い雨樋2を取り付けます。山形の鉄骨が真ん中で別の2本が中心から半分のところに来ます。

長いビスを使用し打ち込みますがかなり打ち込みにくいです。

ワイヤー、ロープなどを斜め掛けして鉄骨の直角を出します。

※ボルトを締めすぎると直角が出ないので緩めて隙間に針金などを入れ戻らないようにします。



雨樋は茶色のパッキンのついたビスで打ち込み打ち込んだらコーキングをします。



また雨樋と鉄骨の接着面もコーキングをします。雨樋を取り付ける際当たるところにコーキングを塗り被せるとしっかりパッキンになります。



排水パイプを取り付けます。

少し長いので10cmぐらい切って取り付けます。
取り付ける場合は紫の部分の鉄パイプに打ち込みます。



雨樋の赤い部分をハンマーで叩いて排水がスムーズになるようにします。合計8箇所。



雨樋の裏面、コーナーとの下から水が伝ってくるのでそこもコーキングします。

以上で第一工程終了です。

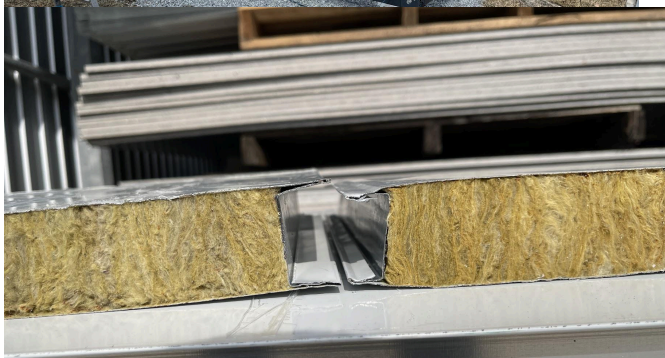
後半施工前確認事項

・排水パイプの取り付けは終わっているか

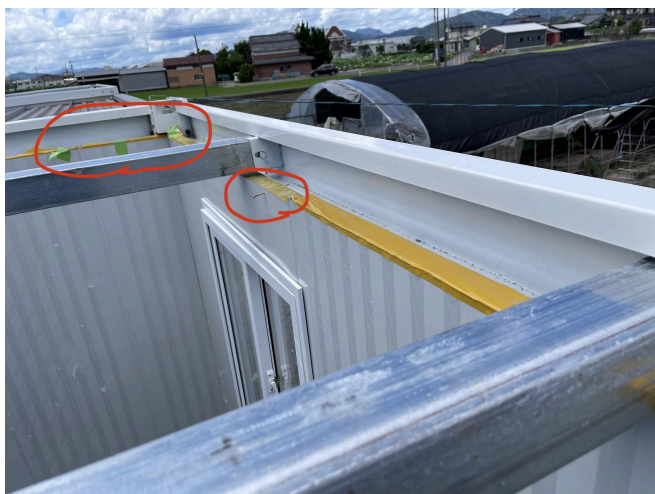


- ・ボルトを閉めているか
- ・アマといの端末をコーキング、折り曲げをしている
- ・軽量鉄骨受けのハンマー
- ・ドアノブ取り付け
- ・ドアフレーム・窓フレームを取れる位置に

雨樋のスポンジテープの取り付け



パネルはどちらが上下、表裏はありませんが左右にはオススメがあります。



パネルは風を受けるので上部を7cmビスで止めるか養生テープなどで倒れないようにしてください。



窓フレームを内側から、ドアフレームを取り付けます。



パネルを3面つけたら床を入れていきます。根太の下にブロックなどを敷いておくと床が下がりにせん。

最後の面に面する床だけ敷かず室内に入れ最後の面のパネルを取り付けます。

床は下の軽量鉄骨に5cmのビスで固定します。

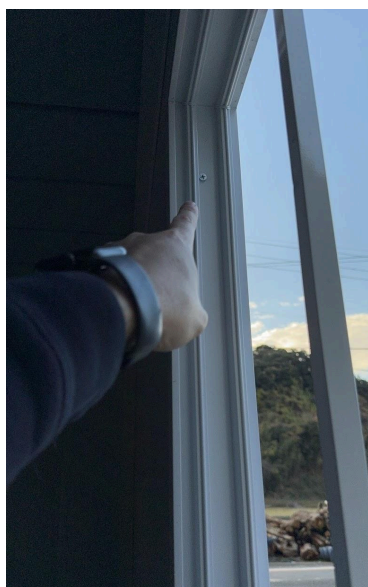


パネルを抑える&天井下地を3本取り付けます。
取り付けるビスは5cmのビス

2cm4cmの長い鉄骨を長い面2本と中央に取り付けます。短い面は2cm4cmの鉄骨で抑える形になります。

天井を取り付けます。両端、中央を一番短い2cmビスで止めます。

最後の板は長さを測ってサンダーか金切ハサミで切ります。



窓とドアを取り付けます。
窓は外側から窓を入れ、側面に5cmのビスで上下2箇所止めます。
ドアはドアを開くとプラスチックのパッキンがあるのでそこを外して取り付けてください。

ドアは室内に入れ取り付けます。
ドアノブは右左選べません。
申し訳ございませんがドアノブが毎回違うものが納品されるため取り付けの説明・動画がありません。



天井の周りぶちは薄いLアングルを使用します。
壁に短いビスを打ち固定します。

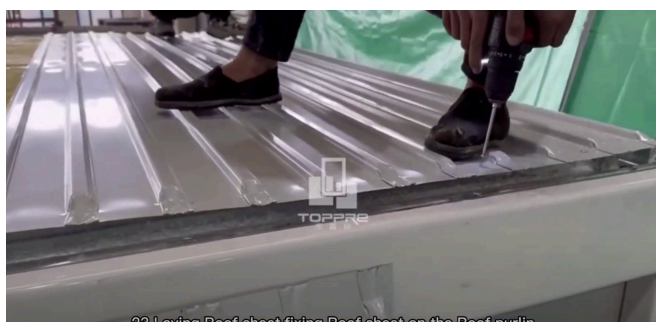
縦の隙間はプラスチックでできたカバーで隠します。
長さを測って切って使用してください。

床と壁の隙間はコーキングなどを使用し隙間を埋めてください。巾木は商品にありません。

これで室内は終了です



天井を貼ったら断熱材を入れます。写真のように転がして入れ、少ないようであればホームセンターで購入して入れてください。



屋根を被せます。屋根の耳の部分に雨樋に打ち付けます。この時茶色のスポンジテープのところに打ちます。2cmのパッキン付きのビス

鉄骨の上に乗らないと屋根は簡単に凹みます。



屋根の山が被るところにコーキングをして被せます。



屋根を全て被せたら屋根の耳を叩いており曲げ排水しやすいようにします。

しっかり曲げないと雨が伝って入ってきます。

屋根のビス、雨樋のビスもコーキングします。

コーキング

- ・屋根の山の被り
- ・屋根の始まりと終わり
- ・屋根・雨樋のビス
- ・収集機と雨樋の隙間
- ・窓・ドア
- ・パネルと鉄骨の繋ぎ目



